

■ 構造計画

新庁舎は、災害応急対策活動に必要な施設であり、大地震後にも防災拠点機能を確保するため、高い耐震安全性を有する「免震構造」を採用します。

■ 環境配慮計画・防災計画

1.環境負荷低減について

1. 自然エネルギーの利用

- ・太陽光発電システム(30kW)
- ・照明調光制御
- ・自然採光、自然通風

2. エネルギーの有効利用

- ・高効率機器の利用
- ・LED照明器具、人感センサー制御の採用
- ・節水型衛生器具の利用

3. エコマテリアルの利用

- ・エコケーブルの利用
- ・再生材の利用

4. 外部負荷の低減

- ・庇を設置し、日差しを遮る
- ・環境型ガラスの利用により空調エネルギーを削減

5. 長寿命化

- ・長寿命、汎用性の高い機器・材料の選定

2.防災拠点機能を維持できる安全安心な庁舎

1. 耐震性能	2. 浸水対策	3. 電力途絶対策	4. 給水対策	5. 火災時の避難確保
・免震構造の採用	・基幹設備を屋上階に設置 ・敷地全体の地盤を道路面から1m程度嵩上げ	・停電時の電力供給(7日間程度) ・30kWの太陽光発電設備を設置	・雑用水槽の設置(4日分の給水確保) ・上水と雑用水の2系統化	・安全な避難を確保
6. 排水対策	7. 通信対策	8. 落雷対策	9. 情報インフラ対策	10. 備蓄機能
・非常時汚水槽を設置(7日間程度) ・マンホールトイレの設置	・通信回線の二重化 ・防災行政無線の有効活用	・避雷設備、防護設備の計画	・機器の二重化や回線の多重化	・備蓄スペースを倉庫棟に配置

■ 概算事業費

費目	費用(千円)	備考
設計監理費	200,000	造成設計、基本設計、実施設計等
敷地造成工事費	220,000	敷地造成工事、調整池
建設工事費	2,900,000	新庁舎建設費
周辺整備工事費	400,000	外構等付帯工事
用地関係費	213,200	地質調査、用地補償費ほか
備品・機能移転費	400,000	備品購入、機能移転ほか
解体費	150,000	現庁舎解体費
合 計	4,483,200	税込

この事業費は、令和2年4月時点の新庁舎関係事業費を示したもので、建設に係る費用のほか、備品購入費や現庁舎からの移転費、現庁舎の解体費を含め、全体で約45億円を見込んでいます。

基本設計や実施設計の各段階において庁舎規模の検証やコスト縮減につながる構造、仕上げ、設備機器などを積極的に採用し、事業費を可能な限り抑制するなど、機能的で効率的な施設整備に努めます。

■ 事業スケジュール（令和2年4月現在）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4～5年度
基本計画 基本設計	実施設計 建築確認申請	敷地造成工事	新庁舎建設工事

この資料は、基本設計概要版(案)を要約したものです。概要版全文は、市ホームページへの掲載、または市役所財産管理課に置いてあります。

安芸市新庁舎建設基本設計(案) 概要 要約版

『市民の安全と安心を守り人と環境にやさしい庁舎』

■ 設計の基本方針

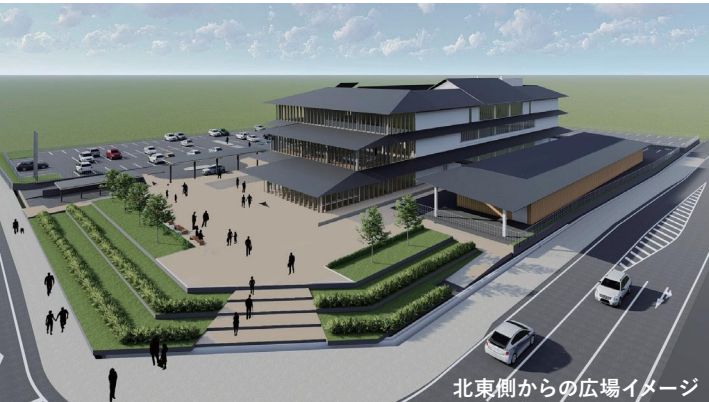
新庁舎の基本設計は、「安芸市新庁舎建設基本計画」(令和元年11月策定)に基づき、基本理念の実現に向けて、6つの基本方針を踏まえ、目指すべき新庁舎像を具現化するものとして計画します。



南東側からの鳥瞰イメージ



南東側からのアイレベルイメージ



北東側からの広場イメージ

1 市民の安全、安心を支える庁舎

- ・「免震構造」の採用により高い耐震安全性を確保
- ・自家発電設備等による施設機能の継続
- ・個人情報やプライバシーの保護に配慮

2 誰もが快適で利用しやすい庁舎

- ・市民の利用頻度の高い窓口の集約
- ・プライバシーに配慮した相談環境の確保
- ・分かりやすい案内表示や設備によるユニバーサルデザインの採用

3 市民に親しまれ身近に感じる庁舎

- ・市民活動や交流に利用できる市民利用スペースの確保
- ・市政情報や観光情報などを知ることができる情報発信コーナー

4 効率的・機能的で柔軟性のある働きやすい庁舎

- ・将来の行政ニーズの変化に対応する執務空間

5 経済性に優れ環境に配慮した庁舎

- ・自然通風、太陽光発電など自然エネルギーを活用
- ・省エネルギー技術によるランニングコストの抑制

6 歴史と文化のまちにふさわしく愛着を持てる庁舎

- ・武家屋敷との景観を考慮し、周辺環境との調和
- ・木の温もりが感じられる空間づくり

■ 建築計画概要

1. 敷地概要

所在地 安芸市土居82番地1
敷地面積 14,918.70 m²

2. 建物概要

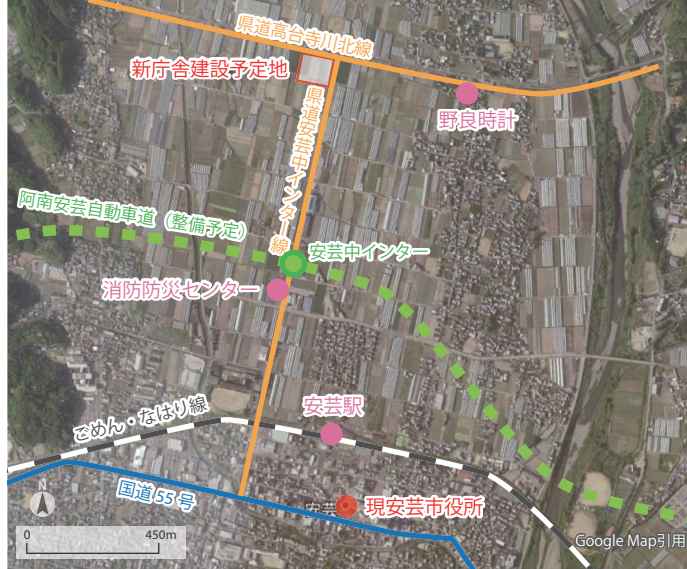
	新庁舎棟	倉庫棟
構造種別	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造（免震構造）	鉄骨造（耐震構造）
建築面積	約 2,100 m ²	約 580 m ²
延べ面積	約 5,890 m ²	約 580 m ²
階数	3階	1階
高さ	17.95 m	4.5 m

3. 配置計画

配置計画の配慮事項

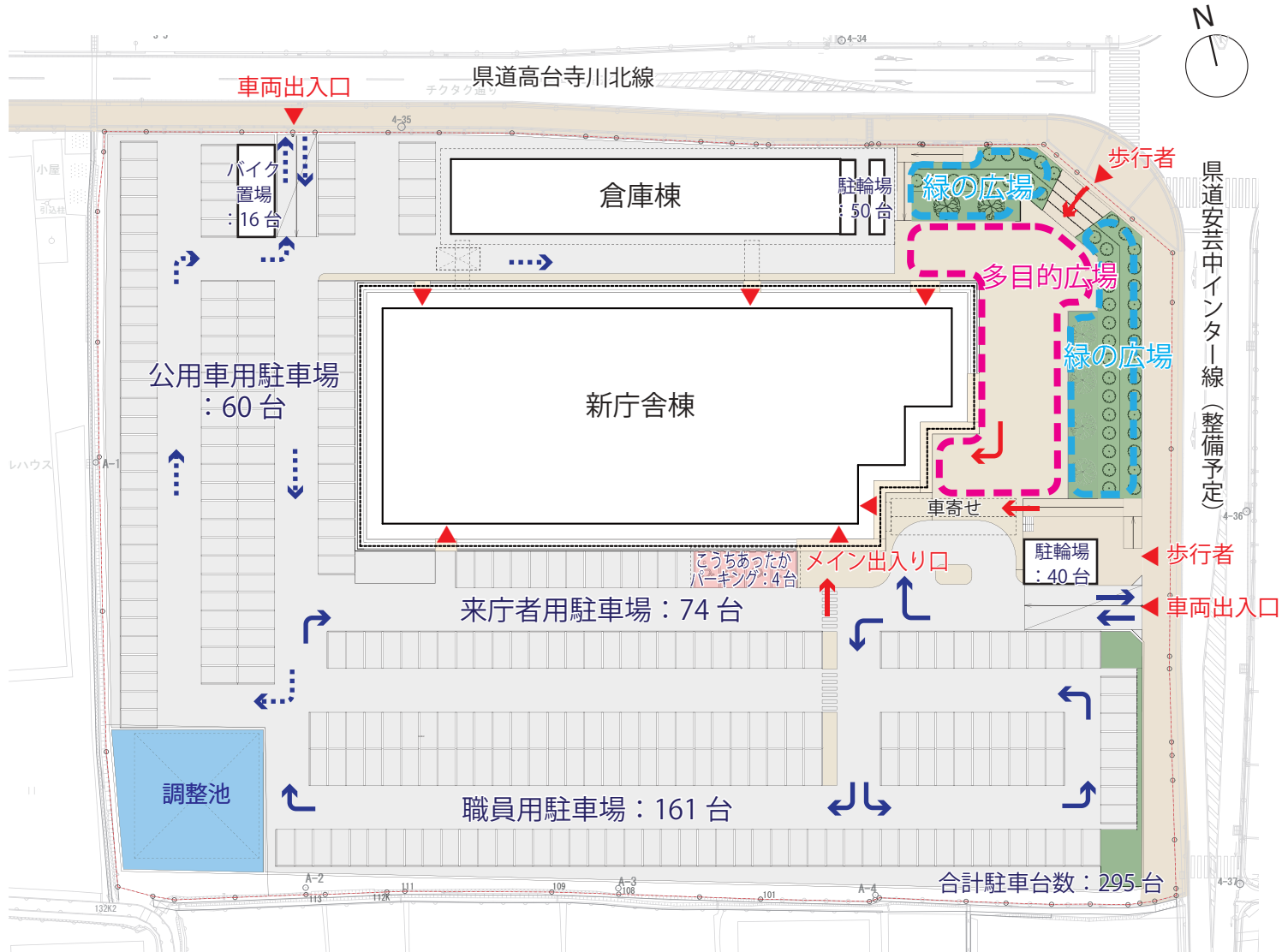
- ・敷地を有効に利用した効率の良い配置計画
- ・安全で安心な防災拠点機能の確保
- ・アプローチしやすい駐車場計画
- ・誰もが利用できる多目的広場の確保

■ 位置図



凡例

- 車動線（一般車）
- 車動線（公用車）
- 歩行者



■ フロア構成

- ・市民の利用頻度の高い窓口を1階に集約配置します。
- ・庁舎1階東側には、誰もが気軽に利用できる市民利用スペースを確保します。
- ・2階には災害対策エリアと執務エリアを配置、3階には議会エリアと執務エリアを配置します。

3F

- 議会フロア
- 執務室

2F

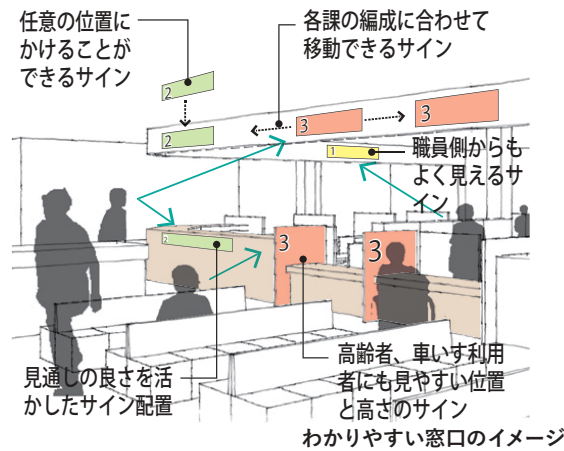
- 執務室
- 会議室

1F

- 執務室
- 市民利用スペース

凡 例

- 執務エリア
- 市民利用スペース
- 諸室等
- 会議室、相談室等
- 倉庫
- 共用部
- 議会関係
- トイレ
- 機械室



市民利用スペースのイメージ